

令和 7 年 10 月 21 日
国土交通省 熊本河川国道事務所
熊本県土木部道路都市局

【自治体職員支援】 橋梁の点検支援技術活用講習会の開催について

熊本県道路メンテナンス会議主催による、地方自治体支援の一環として県内の地方公共団体職員等を対象に橋梁の点検支援技術活用講習会を開催しますのでお知らせします。

この講習会は、橋梁の点検支援技術の活用により、点検方法の効率化が図られることから地方公共団体の点検支援技術に対する理解を深め、定期点検を行う上での技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得し、自らの定期点検に反映してもらうことを目的として開催するものです。

なお、「熊本県道路メンテナンス会議」とは、道路施設の維持管理・補修を効率的・効果的に行うため、各道路管理者が相互に連絡・調整を行い、道路施設の点検計画等を共有することにより、道路施設の予防保全・老朽化対策を円滑に行うことを目的とした会議です。

記

◇ 講習会の概要

- ＜日 時＞ 令和7年10月27日（月） 14時00分～（2時間程度）
- ＜場 所＞ 上益城郡御船町 九州中央自動車道 おおたがわ太田川橋（別紙地図参照）
- ＜参加者＞ 地方公共団体職員（保全業務担当者） 40名程度
- ＜内 容＞ 橋梁定期点検を行う上で点検支援技術を円滑に活用できるよう、「点検支援技術性能カタログ」に掲載されている技術等について紹介します。

◇ 報道関係者の皆様へ

- ・取材される場合は、ヘルメットを貸与しますので前日の15時までに以下の問い合わせ先へご連絡ください。
- ・悪天候の場合は延期または中止する場合があります。その際は事前にご連絡します。

《問い合わせ先》

■ 国土交通省 熊本河川国道事務所		TEL 096-382-1111（代表）	
技術副所長		てらおか 寺岡 たけひこ 岳彦（内線：206）	【総 括】
道路管理第二課長		なかしま 中島 たかひろ 貴弘（内線：441）	【内容等】
■ 熊本県 土木部 道路都市局道路保全課		TEL 096-333-2496（直通）	
道路保全課長		たにみず 谷水 ひでゆき 秀行（内線：53400）	
道路保全課 課長補佐		とくだ 徳田 ひろゆき 博之（内線：53448）	

1. 全体位置図

講習会会場
太田川橋
上益城郡御船町

至福岡
至菊池市
至熊本市
至山都町
至鹿児島
至甲佐町

嘉島 JCT
小池高山 IC
御船 IC
上野吉田無田 IC

九州自動車道
九州中央自動車道

国道 443 号
国道 445 号
国道 221 号
県道 235 号
県道 226 号
県道 57 号

益城菊陽線
小池竜田線
益城矢部線
八勢川
山都中島西

御船町
御船川
緑川 PA

ルート 1
ルート 2
ルート 3

・ルート 1
上野吉田無田 IC より、約 2.4km(3 分程度)

・ルート 2
国道 443 号 県北方面
(県道 235 号 益城菊陽線 交差箇所) より、
約 4.9km(8 分程度)

・ルート 3
国道 445 号 県南方面
(国道 445 号 田交差箇所) より、
約 9.7km(12 分程度)

2. 詳細位置図

九州中央自動車道

北田代トンネル

太田川橋

北田代分館

玉来簡易郵便局

至山都町

至山都町

屋敷

304

284

県道57号

益城支那線

至御船町
(九州自動車道)

講習会会場 (太田川橋)

集合場所 (駐車場)

門扉

至北田代トンネル

門扉に入る

至玉来簡易郵便局

※駐車箇所から橋梁までは徒歩での移動となります。約 600m(9 分程度)

ルート 3. 国道 443 号県南方面(国道 445 号交差箇所)からのルート

地図 2



地図 1



※道中に飲食店、コンビニ等ありません。



橋梁概要

橋梁概要

橋 名	おおたがわ 太田川橋
橋 長	354.00m (65.9+110+110+65.9)m
幅 員	12.65m
架 設 年 度	2018 年
上部工形式	PC4 径間連続ラーメン箱桁橋
下部工形式	逆 T 式橋台 2 基、柱橋脚 3 基
基 礎 形 式	深礎杭 2 基、大口径深礎杭 3 基
交 差 物 件	太田川

おおたがわ 太田川橋状況写真



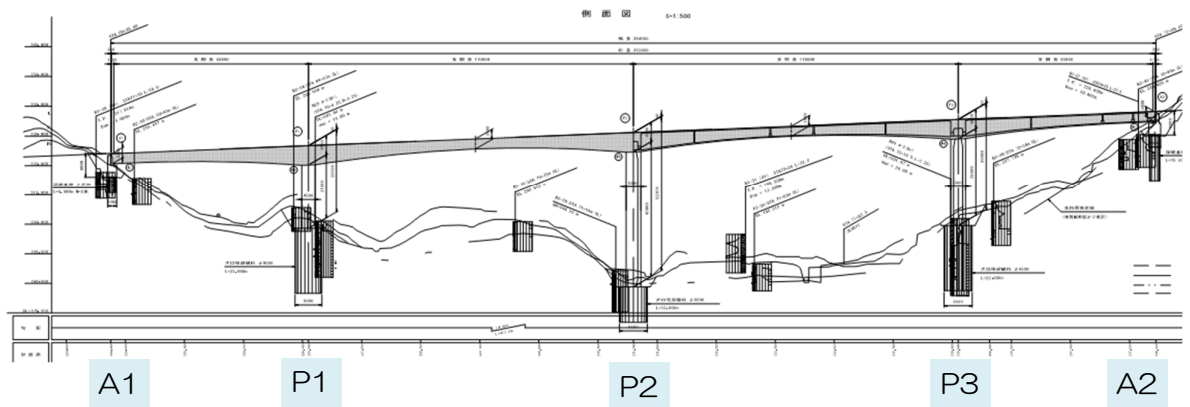
集合場所(駐車場)



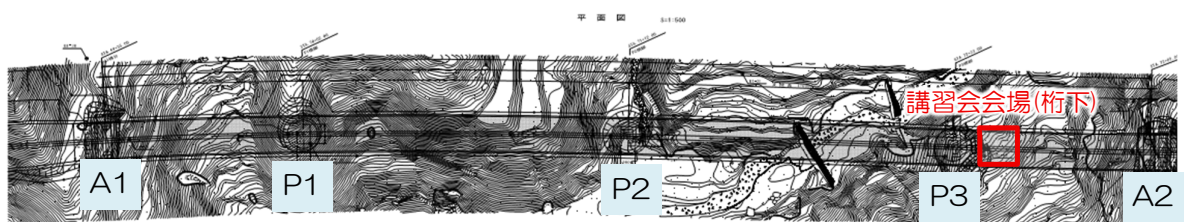
講習会会場(P3 橋脚周辺)



断面図



平面図



点検支援技術のご紹介

近接目視を補完・代替充足する技術の紹介

写真撮影・画像解析：作業の効率化・精度向上

紹介技術①： 無人航空機(マルチコプター)を利用した橋梁点検システム

[技術番号：BR010027-V0425]

【技術概要】

ドローンに搭載されたフルサイズデジタルカメラにより、部材表面のデジタルカラー画像を撮影して損傷の状態を把握し、損傷図面、損傷写真および精度管理報告書を提供するサービスである。



写真撮影・画像解析：作業の効率化・精度向上

紹介技術②： あいあい ～軽量垂直ポールカメラ～

[技術番号：BR010056-V0225]

【技術概要】

あいあい～軽量垂直ポールカメラ～は、最長 7.5m まで伸縮可能な長手ポールの先端にチルト機能を有した雲台および撮影用カメラを設置し、それらをパソコンと有線接続して操作し、近接目視が困難な道路橋の点検対象等の撮影が可能な技術である。また、撮影した画像から劣化損傷自動検出技術 C2finder を活用することにより、コンクリート部材に発生したひびわれの長さや幅の自動検出を行う。



点検補助機器：作業の効率化・簡素化

紹介技術③： 3D点群計測機器（BLK360）[※点検支援技術ではありません]

【技術概要】

360度のレーザー距離計と高解像度パノラマイメージングにより、高精度の3D点群データを生成できるコンパクトなイメージングレーザースキャナーである。

約 1kg と軽量かつコンパクトで携帯性に優れた本体とモバイル端末向けアプリケーション「Leica Cyclone FIELD 360」を用いて遠隔操作や現場でのデータ処理が可能である。

